

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただくべき事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「ユーザーズマニュアル」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告 :人が死亡する、または重傷^(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 :人が軽傷^(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い :本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

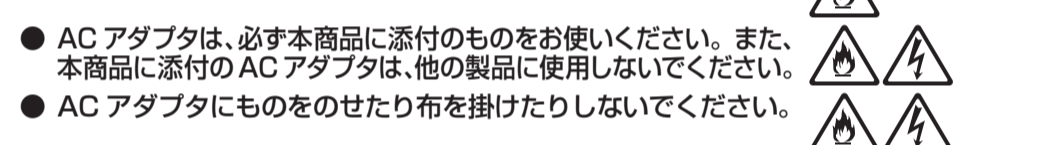
(※1) 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中重度など後遺症が残るものおよび治療入院や長期の通院を要するものとしています。
(※2) 軽傷：治療入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをとしています。
(※3) 物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をとしています。

図記号の説明			
警告・注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号	
 一般注意	 一般禁止	 電源プラグをコンセントから抜く	
 発火注意	 分解禁止	 必ず手止	
 感電注意	 必ず手止	 必ず手止	
 高温注意	 水ぬれ禁止	 風扇等の使用禁止	
 破裂注意	 火気禁止		

警告

電源

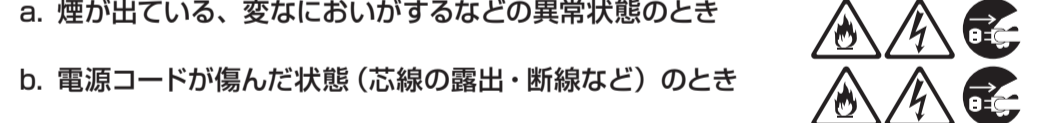
- 100V ACの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷ついたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ぬじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線しないでください。



- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- ACアダプタにものをせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付のACアダプタは日本国内100V AC(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご利用ください。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ぬったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体およびACアダプタ）
<p>以下の場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、eのような使いかたはしないでください。</p> <p>a. 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき</p> <p>b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき</p> <p>c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき</p> <p>d. 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき</p> <p>e. 本商品を落としたり破損したとき</p>



- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されており、人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や算算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

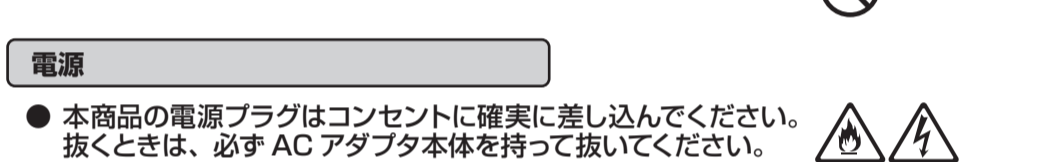
注意

設置場所（本体および添付品）

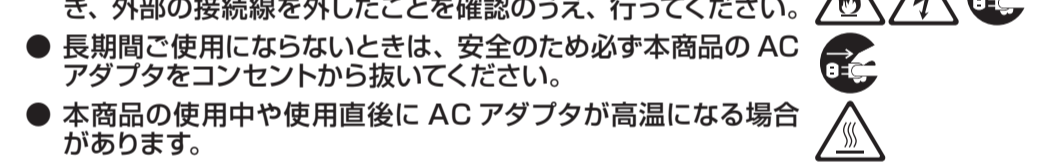
本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、周囲に十分なスペースを確保してください。

- 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きや横置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがしないでください。次のような使いかたはしないでください。
 - ＜悪い例＞
 - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。



- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。



禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障はありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入ると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波による範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所へ届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波が放射に傍受し、ID や IP アドレス又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に入力される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物にのみアクセスして盗聴し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているのですが、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの観点から、下記でバージョンアップする場合は、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをとお勧めします。セキュリティ対策を怠ると、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社がはたして生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キーは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キー＝「Wi-Fi 詳細設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

- 自動（バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効することができます。なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のよう設定することが可能です。（※表面「クイック設定 Web の起動方法」）

【更新があったら、すべてバージョンアップする場合】（工場出荷時の設定）
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：ON
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
「時刻指定バージョンアップ機能」：ON
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：OFF

※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「その他の設定」画面（ブリッジモードまたはメッシュ中継機またはメッシュ中継機の子機として使用する場合は「基本設定」→「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」画面にて設定できます。

※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加/変更を行います。意図しない機能追加/変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップ）に変更することもできます。

●自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
※「重要な更新」は、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に製品サポートページ（https://jpn.nec.com/atermbiz/sh/）の「技術情報/お知らせ」にてご案内します。

自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。
※ファームウェア更新不要」の画面が表示された場合は、ここで終了です。ログアウトをしてクイック設定 Web を終了してください。

●保守サービス機能は、本商品に対してインターネットを介して保守を行う機能です。保守サービスの提供には、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報は、当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的は利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続きと同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただけないあと、本機能が利用可能となります。

●保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

＜ファームウェアのバージョンアップ手順＞
1. クイック設定 Web を起動する（※表面「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
※「ファームウェア更新不要」の画面が表示された場合は、ここで終了です。ログアウトをしてクイック設定 Web を終了してください。
4. メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで [OK] をクリックする
※本商品が再起動します。
5. 「ファームウェア更新中」のメッセージが表示されます。XXX 秒ほどお待ちください。残り XXX 秒...と表示されるので、そのまましばらく待つ

- 保守サービス機能は、本商品に対してインターネットを介して保守を行う機能です。保守サービスの提供には、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報は、当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的は利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続きと同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただけないあと、本機能が利用可能となります。
- ※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項
<ul style="list-style-type: none">●本商品は、技術基準適合証明を受けています。 ●IEEE802.11ax（5GHz帯）、IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用し、約 200MHz、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の外部への使用は電波法により禁止されています。 ●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（WS2）と 52,56,60,64ch（WS3）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（WS6）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（US2）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。 ●IEEE802.11a/n/ac/ax ・WS2（5.2GHz帯/36,40,44,48ch）、WS3（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）、WS6（5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。5GHz 帯で接続する子機は、以下の装置があるものを推奨します。 <ul style="list-style-type: none">・WS2（5.2GHz帯/36,40,44,48ch） ・WS3（5.3GHz帯/52,56,60,64ch） ・WS6（5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch） ●WS3（52,56,60,64ch）または WS6（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。 <ul style="list-style-type: none">・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信を行えません。 ・通信レーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますが、通信が中断されることがあります。 ●IEEE802.11ax（2.4GHz帯）、IEEE802.11n（2.4GHz帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線 LAN などで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他無線局」と呼ぶ）が適用されます。

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が適用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の放射を停止）してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。
- Bluetooth 機器との通信はできません。
 - IEEE802.11ax（2.4GHz帯）、IEEE802.11n（2.4GHz帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF4	2.4	：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
IEEE802.11b/g/n/ax	4	：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	■■■■	：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
- ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法はユーザーズマニュアルを参照してください。）

- デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
・デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かください。
・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合は、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

— — —：直流

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
VCCI-B

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされたソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを手入力し、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布およびお楽しみすることがあります。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などに準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社は本製品に変更し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に関しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法をご確認ください。必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お問い合わせ先にご相談ください。

廃棄方法について

本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。本商品に接続した端末の情報や、ご利用開始時の状態から変更した無線の暗号化キーなどの情報が、第三者に漏洩しないよう、本商品を初期化してから廃棄することをお勧めします。（故障等初期化ができない場合を除く）

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断復写することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容については万全を期して作成したものの、万一の不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障、誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逃したために生じた損害などの補償請求権につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策を怠ると、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Wi-Fi の機能を有効にするには、下記の手順で設定してください。詳細な設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えらるべきトラブルとその対処を下記に記載します。
※この他に製品サポートページ（※右記「お問い合わせ」製品サポートページ）でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらもあわせて参照してください。

※解決しない場合は、本商品を初期化（※下記「初期化方法」）し、はじめから設定し直してお試しください。

■ **CAV（ケーブルモデム）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず。インターネットに接続できない**

ご利用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶している場合、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの電源で電源を切り、しばらくしてから電源を入れます。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へ確認ください。

■ ACTIVE ランプが橙色に点灯している

高周波調整エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本商品をメッシュ中継機またはメッシュ中継機を利用しない中継機、子機として使用する場合は、親機と 2.4GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）

■ クイック設定 Web が開かない

- ご利用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定できず開かない、通信が正常に行かない場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。（パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。
- Web ブラウザの設定でキャッシュを使用している場合、キャッシュの削除を試してください。
- 「リモートワーク Wi-Fi（ネットワーク分離機能）」が ON になっている場合（セクダリ SSID の本機能は工場出荷時で ON）は、「リモートワーク Wi-Fi（ネットワーク分離機能）」を「OFF」にしているネットワーク名（SSID）に接続、または有線接続してください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。暗号化キー、管理者パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化する前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の「メンテナンス」>「設定値の保存& 復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に再度画面にて復元することができます。（ただし、管理者パスワードは復元できません。）
1] 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する
※電源を入れた場合や電源を入れた直後の場合は、約 60 秒お待ちください。
2] RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す
※POWER ランプが赤点滅をはじめまで約 6 ～ 10 秒かかります。
3] 本商品から AC アダプタのプラグを取り外して、10 秒以上待ってから差し込む
4] 約 60 秒待つ
※ 前面的ランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。（2024 年 11 月現在）

■ つなぎかたガイド（本書）

基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご利用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

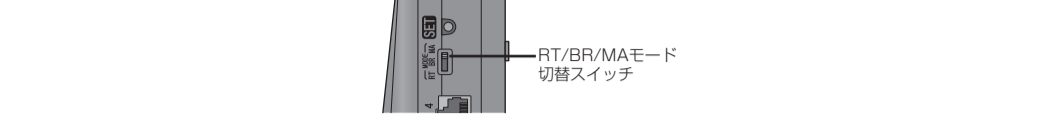
■ ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）

本商品のさまざまな機能を活用していただくことを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本商品の証な事項についても記載しています。
→ 製品サポートページ（※右記「お問い合わせ」製品サポートページ）から参照してください。

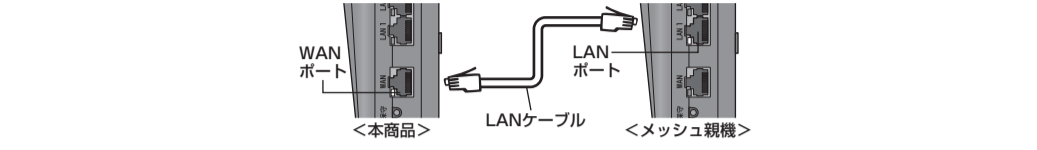
メッシュ中継機として使用する場合は

本商品をメッシュ中継機として使用する場合は、メッシュ親機との接続設定をしてください。
※メッシュ親機には、本商品と同じ SH6042A など、本商品のメッシュ機能に対応した機種を使用してください。ここでは、LAN ケーブルを使用した設定方法を説明します。詳細な設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

- 本商品の電源/パスワードを初期値から変更する
 - ※初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/MA モード）切替スイッチが RT 側）で行います。
- STEP2 → STEP3**の手順①、②→ **STEP4 → STEP6**の手順①、②を実施してください。
- 本商品の電源を切った状態で RT/BR/MA モード切替スイッチを MA 側にする



- 本商品（メッシュ中継機）の WAN ポートとメッシュ親機の LAN ポートを LAN ケーブルで接続する



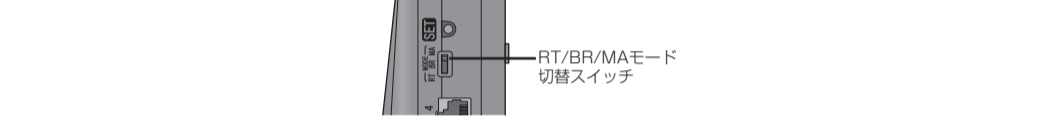
- メッシュ親機の電源が入っていることを確認する
- 本商品の電源を入れ、約2分待つ
- 本商品の ACTIVE ランプが緑点灯、MESH ランプが緑点灯したあと、メッシュ親機との接続設定が完了する
- メッシュ親機と Wi-Fi 接続で使用する場合は、手順③で接続した LAN ケーブルを取り出す

メッシュ機能を利用しない中継機/子機として使用する場合は

本商品は、メッシュ機能を利用せずに、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して有線（イーサネットケーブル）として使用したりすることができます。メッシュ機能を利用しない中継機/子機として使用するには、下記の手順で設定してください。詳細な設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

- ※設定の際は、親機と近くで設定してください。なお、下記手順の親機は、Aterm シリーズを例にしています。
- ※下記手順では WPS を使用します。WPS を使用するには、親機の暗号化モードは「WPA3-SAE（AES）」、「暗号化無し」以外のモードにしてください。

- 本商品の管理者/パスワードを初期値から変更する
 - ※初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/MA モード）切替スイッチが RT 側）で行います。
- STEP2 → STEP3**の手順①、②→ **STEP4 → STEP6**の手順①、②を実施してください。
- 本商品の電源を切った状態で RT/BR/MA モード切替スイッチを MA 側にして切り替える



- 本商品の保守ボタンを押しながら電源を入れ、前面のすべてのランプが緑点灯したあと、POWER ランプ以外のランプが消灯することを確認したら電源を放して、1 分以上待つ
※ 本案件によりメッシュ機能を利用しない中継機、子機に設定されます。
- 本商品の SET ボタンを長押しして、POWER ランプが緑点滅したら放す
- 親機の WPS プッシュボタン（SET ボタン、無線ボタン、5 くらぐスタートボタンなど）を長押しして、親機の POWER ランプが緑点滅したら放す
※ 本商品の POWER ランプが緑点灯することを確認する
※ しばらくして本商品の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが緑点灯または点滅点灯します。

お問い合わせ・製品サポートページ

■ 当社指定お問い合わせ窓口

https://jpn.nec.com/atermbiz/sh/hosyo/



■ 製品サポートページ

https://jpn.nec.com/atermbiz/sh/


^{[1}